

「卓越した技能者の表彰」制度

趣旨

卓越した技能者の表彰制度は、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能水準の向上、優れた技能の継承などを目的としている。

被表彰者の決定

被表彰者は、次の全ての要件を充たす者であって、都道府県知事、全国的な事業主団体等、全国的な障害者団体、個人のいずれかの推薦を受けた者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見に基づき決定する。

①きわめてすぐれた技能を有する者、②現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者、③技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者、④他の技能者の模範と認められる者

表彰

表彰は、厚生労働大臣が毎年1回、被表彰者に表彰状、卓越技能章（盾及び徽章）並びに褒賞金（10万円）を授与している。

令和6年度の受賞者は、治工具製造工、金属加工機械組立工、発電機・電動機組立工、自動車部品機加工工などの工業系技術職から48名、染物・仕上工、婦人・子供服仕立職、建築大工、かわらふき工、造園師、土石製品製造工、木製家具・建具製造工、日本料理調理人などの生業系技能職90名の合計138名が受賞した。

昭和42年に第1回の表彰が行われて以来、令和6年度の第58回の表彰までに7,234名が表彰されている。

令和6年度の代表的な被表彰者



堀川 一巳氏
アーク溶接工
株式会社 日立インダストリアルプロダクツ

大型産業機械である圧縮機、ポンプ、送風機などの製缶・溶接作業に長年にわたり従事。多種にわたる溶接方法を体得し、高い技術を要する。

溶接方法、材料知識、最適な作業要領を熟知し、製缶溶接の幅広い範囲で卓越した技能を有している。



塚本 勇人氏
かわらふき工
株式会社 瓦粹



かわらふき工として、寺社建築特有の建物ごとに違いのある美しく牢固たる曲線美を作り上げる技能に卓越している。

写真は、大慶寺本堂（静岡県藤枝市）。唐破風千鳥屋根が混在する権限作りの御堂。



山下 弥壽男氏
印判師
有限会社 山下弘栄堂

篆書体、古印体、楷書体、行書体、草書体の筆法や書に関する知識が豊富であり、粗密を考慮し文字同士のバランスが取れた印稿を作り、布字することができる。
聴覚障害に怯むことなく、技能士会会長を務める等、業界の発展に貢献。